

発行：
公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

刈払機を使用するとき、石が四方八方に（自分の方にも）飛びます。
なぜ飛ぶのかを考えて、対策をしましょう。

刈払機を使うと

なぜ、石が飛ぶのでしょうか？

「刈刃」には、チップソー等の金属製の刃やナイロン刃などの種類がありますが、いずれも、回転する刃が草を刈る時に、小石を弾き飛ばしてしまいます。

チップソー



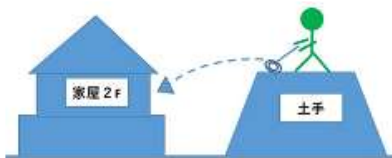
ナイロン刃



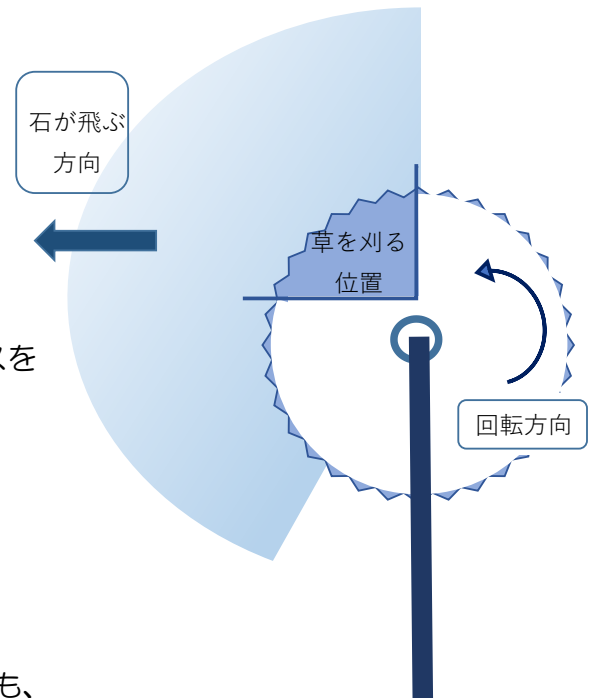
- どうなったときに、石が飛ぶか
 - 回転刃が地面（小石）に接触したとき

- どの方向に、石が飛ぶか
 - 360度の方向に飛ぶ可能性があるが、主に、左側に飛びやすい

- どのくらいの威力で飛ぶか
 - 距離は、（ふつうに）10数メートル飛ぶ
 - 高さは、2階建ての家屋の2階部分のガラスを破損させた事例がある
 - 土手の草刈り作業で、近隣の家屋を損傷させた事例もある



- 高速で飛ぶため、強固な自動車の窓ガラスも、簡単に割ってしまう



飛び石は必ず発生するもの。

石が飛んでも、自分自身や周りに居る人、そして周辺の物を、傷つけないようにするにはどうすればよいかについて、考えてみます。（秋頃の号で特集予定）